

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ブルースカイジュニア浦和教室		公表日	令和 8年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0		人員基準を満たした配置をしておりますが、より職員間のコミュニケーションを取るためには配置数を増やしてほしいと感じます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	10			物置部屋がないので支援教材などの置き場に困ることがあります。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8	2	個人の失敗に対して個々の問題とせず、教室全体でフォロー、改善に動いています。	
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎年実施をしている自己評価の結果をもとに、業務改善を続けています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	毎年実施をしている自己評価はホームページ上で公開をすると共に、市町村にも結果をお送りしています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4		弊社が運営する他事業所からは評価をもらいますが、全くの外部から評価という点では未実施です。
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		可能な限り希望した研修を受けさせていただいています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10		支援に入る前には必ず支援計画を確認し、それを満たすための支援プログラムを立てています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		前回支援を担当した職員から聞き取りをすることでも、チームで支援内容を検討しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	10			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1	個々に担当する支援については、聞き取りを行いながら立案し、集団イベントの時には支援表を作成したものを全体で共有しています。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	1		その日の支援について、その日に共有することが時間的に難しいのですが、翌日の朝礼などで共有を行っています。	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10		サービス提供記録を作成して、記録を行っています。		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		10			医療的ケア児はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		10			医療的ケア児はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1			研修などでお会いして助言をいただくことはありますが、当事業所にお越しいただいての機会はなかなかありません。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		10			障害のない子どもと接するイベントはありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10			教室長が参加をしています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10			《びあサロン》という名前で保護者交流会を行っています。	
保護者への説明等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10				
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10				
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	1			支援内容の報告書のお渡し違いが昨年12月に起こってしまいました。事故報告書として本会議に提出し、再発防止策を講じました。
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10					
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		10				

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	1			予防接種の接種状況については把握していません。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている					食事提供がない事業所なので対応はしていません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			教室長が県の研修に参加をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10				